

[2022 - 2023]

ANNUAL REPORT

 ホールマース自然学校



豊かな「自然語」があふれる未来に向けて



Our Vision






私たちホールアース自然学校は

1人ひとりが「人・自然・地域の共生する暮らし」の実践を通じて、感謝の気持ちと誇りを持って生きている社会を目指しています。

— 2022年度の活動実績 —

TRACK RECORD

学校向け教育旅行プログラムや企業のCSR活動の支援など、2022年度も企業・行政・学校・NPO・市民など様々なセクターと活動を展開し、5県8拠点で協働の渦を生み出しました。

| 教育旅行プログラム | 自主事業 | 企業研修 | インタープリター育成 | コンサルタント業務 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  |  |  |
| 192 団体 | 138 回 | 15 回 | 223 名 | 14 件 |
| 24,147 名 | 2,566 名 | 446 名 | | |

topics

2022-2023

TOPIC 01

日中韓環境教育ネットワーク
～ワークショップでの活動事例紹介～



令和4年11月17日(木)～18日(金)に開催された日中韓環境教育ネットワークの非公開ワークショップに参加しました。このワークショップでは、自然に根ざした環境教育活動をテーマに、田貫湖ふれあい自然塾(受託運営)の取り組みや自然観察などのプログラムの事例を紹介しました。その後、中韓の環境教育実践者と意見交換を行いました。日本の自然学校の事例を紹介する貴重な機会となりました。

TOPIC 02

石川県小松市の木場湯公園東園地で、
新たな里山再生モデルとなるプログラムを企画立案



令和5年4月に新たにオープンした石川県立木場湯公園東園地で、主に学校団体向けの体験学習プログラムを企画立案しました。森づくり体験や生き物調査、ガイドウォークなど、これまでホールアース自然学校が培ってきたノウハウを生かし、公園運営者が活用できるようプログラムマニュアルや資料を作成しました。また、ボランティアスタッフを対象としたインタープリテーション研修会も行い、公園開園後の運営がスムーズとなるよう支援しました。

TOPIC 03

日本テレビの番組「所さんの目がテン！」で育んでいる「かがくの里」で、親子5組に対して自然体験を提供する環境省の事業をサポート



里山再生をテーマに、様々な自然科学の研究者と地元の方々の協力を得て、人と自然のつながりを取り戻しつつある「かがくの里」。荒地を人が適切に管理することによって、生物多様性が増していく様子が、環境省の第10回グッドライフアワードを受賞。これを記念して、開催された親子自然観察会の司会進行を務めました。3名の研究者と全国から集まった生き物好きの参加者をつなぎ、存分に里山の動植物とのふれあいを楽しんでいただきました。

TOPIC 04

FSPJの活動が「第49回環境賞／環境大臣賞」を受賞しました



富士山麓に工業団地が造成されて以来、自然再生の核として運営に携わってきた一般社団法人富士山南陵の森フォレストセイバーの活動が、国立環境研究所と日刊工業新聞社が主催する第49回環境賞の最も栄えある「環境大臣賞」を受賞しました。ハード面を設計＆造成した大成建設株式会社と、工業団地進出企業との共同の受賞となりましたが、「環境と共生する新しい工業団地のあるべき形を世の中に提供し、新しい価値を創造した」という点について、高くご評価いただきました。

1

@ SHIZUOKA
富士山本校令和4年度「南アルプス魅力発信ツール教材コンテンツ制作業務」
2022年5月～2023年3月

南アルプスの魅力を発信する環境学習サイトのクイズ&プログラムを制作しました

大地は今なお世界最速のスピードで隆起を続け、ライチョウをはじめ希少な動植物が息づく南アルプス。そこで、この南アルプスの魅力を、現地で体感してもらえるような10の自然体験プログラムを掲載すると共に、興味をもった小中学生が、遠く離れた場所からでもテーマ毎に分類された200問のクイズを解くことで自ら学んでいけるよう、静岡県自然保護課からの委託を受け、環境学習サイト「南アルプスの宝箱」の開設を支援しました。

参加者アンケート

- （プログラムの実証に参加した中学生）
自分の学校の前の河原に、海底で出来て、それが長い年月をかけて赤石岳になり、そこから崩れて落ちてきた赤色チャートがあり驚きました。またそれがプランクトンが固まってできた石ということがわかり2度びっくりしました。
- （クイズに回答した中学生より）
南アルプスそこに生息する昆虫や植物、動物たちにとってなくてはならない場所だということがわかりました。またライチョウや高山植物など、南アルプスに生息する貴重な動植物が絶滅してしまうかもしれない危機的な状況であることを知ることができました。



DATA

- 南アルプスの魅力を体験的に学ぶことができるプログラムを10個開発する。
- 「地形」や「気候」「森林」「動植物」「伝統文化」など10のテーマで、200問のクイズを作成する。

3

@ SHIZUOKA
富士山本校春の柚野の里キャンプ
2023年3月25日(土)～26日(日)

富士山の南麓に広がる里山・柚野の春を体いっばいに感じよう

竹のお箸作りや春探しウォークラリー、山菜採りなど1泊2日でプログラムを展開しました。ウォークラリーでは桜咲くお寺で俳句を詠む・地域の商店でおやつを食べる・ツクシを探すといたお題をクリアしながら春を探しました。山菜採りでは敷地内を探して、採れたてを皆で天ぷらにして春の味を楽しみました。また、支援団体の協力を得てなかなか自然体験の機会に恵まれない、ひとり親家庭の子1名へ参加費用の助成を行いました。

参加者アンケート

- （参加した児童の保護者より）
親と離れて過ごす経験や、他の同年代のお友だちと過ごし、他者を思いやる気持ちを育てられたと思います。たまには叱られた事もあった様ですが、一人っ子で家ではわがまま放題なので、良い経験をさせていただきました。
- （参加した児童の保護者より）
ユキノシタやたんぼを食べたこと、商店に行ったことなどを楽しそうに話してくれました。自分で持ち物を準備すること、スケジュールを自分で確認すること、親から離れて過ごすことなど、生活する上で必要なことが経験できたと思います。



DATA

- 参加者11名 / 参加費助成1名22,000円分
- おさまの帰宅後の様子について「満足している」100%

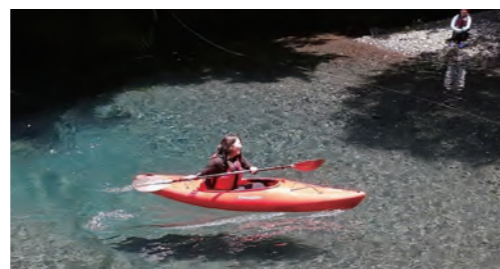
2

@ SHIZUOKA
富士山本校ホールアースエッセンス
隔月開催(偶数月)各回1泊2日富士山麓で自然の本質を見つける旅
「ホールアースエッセンス」

便利な都会での暮らしもいいけれど、自然の中でいつもより、手間ひまかけて、自然の恵みを自分の力で受けとる。薪を割り火を起こす。土に触れ瑞々しい野菜を味わう。森を歩き自然の心地よさを知る。自然との暮らしの中には、本質(=Essence)が詰まっている。富士山麓の自然の中で、年間を通して自然との暮らしや遊びを楽しみながら、生きるために大切なことを見つめなおす、大人のための宿泊型プログラムです。

参加者アンケート

- （20代女性）
心も身体も満たされる2日間をありがとうございました。自然の中での暮らしがたく、参加させて頂きました。今後は自然の良さや面白さを生活の中心で感じながら生きられるようになりたいと改めて強く思いました。
- （50代女性）
本当にあったという間の2日間でした。全てに感激しました。絶妙でした。(中略)最近、仕事が忙しく、気持ちに余裕がなかったのですが、この2日間心が元気になりました。楽しかった～



DATA

- 6回実施 合計27名参加(延べ54名)

4

@ SHIZUOKA
田貫湖ふれあい自然塾たぬきっこキッズ
2022年5月21日(土)・7月30日(土)・10月15日(土)・11月27日(日)低学年の子どもたちだけのお楽しみ戸
あそぶことは生きること

子どもたちだけだからこそ育つ好奇心がある。義務教育や映像など受動的なものから離れて、自由にありのままを感じてみる。親御さんから時には離れて、違う学校の子とお友達になって、のびのびと自然の中で思いっきり遊ぶ。それが、小学校低学年の持つ世界をどんどん広げていく。そんなことを意図して企画したシリーズです。「冒険あそび」「水あそび」「生き物あそび」「火あそび」をテーマとして年4回実施しました。

参加者アンケート

- もともと自然の中で遊ぶのが大好きだったのですが、コロナで連れ出しにくくなり、本人も外で活動する楽しさを忘れつつあったのですが、自分が好きだったことを思い出せたようでした。親と離れ、子どもがのびのび遊べる環境があり、初めてのお友達とコミュニケーション能力も高められてとても満足しています。
- 好奇心旺盛な小学生に、普段の日常の中でどれだけたくさんの経験をさせてあげられるか、どこまで許容するのか、親だけの判断や選択では制限だらけでした。自然塾の専門家のもとで親の許容以上の経験ができたことが、子どもの成長の糧になると確信しています。引き続き、子どもの成長の一翼を担って頂けたら心強いです。



DATA

- 定員15名に対して、倍の数の申し込みをいただいた。
- アンケート「満足している」100%

5

@ OKINAWA

がじゅまる自然学校

奄美・沖縄ガイドネットワーク

2022年4月～2023年3月

集まることによる、共創・情報のアップデート・意識のチューニング

2021年6月にスタートした琉球弧で活動する観光ガイド関連の事業者と情報交換・交流を目的としたオンラインミーティング。プラットフォームとしてまずは参加者同士が知り合うことを第一目的としながら、仲間作り・業界化・観光人材育成を目指す。



参加者アンケート

大坪(つぼち)弘和 沖縄座間味島 日本クジライルカウォッチング協議会副会長、座間味野鳥CLUB会長、琉球新報通信員、座間味村阿佐区長他
新たに似たような事業者とのコラボ企画、メンバー間でのゲストへのそれぞれの地域の情報提供(紹介)、知識の底上げ、目からうろこの意識改革などがある。

やんばる案内人Tida-Smile代表 NPO法人東村観光推進協議会理事
ネットワークの取組みを通して、奄美と沖縄、沖縄本島と離島、更には海外へと、なかなか交流のないガイド事業者などがコロナ禍で急速に進化したオンラインMTGというツールによる交流から、まずはPC画面上で広がった人脈が、リアルなへと繋がっていき、お互いのお客様の紹介やコラボ企画への挑戦など、エリアを超えた新たな観光の動きが生まれました。



DATA

- 1ヶ月に1回の実施。各回20名程度の参加。
- 約10名の運営メンバーとともに2022年度は2年目の活動となる。

6

@ FUKUSHIMA

福島校

郡山市静の湖南プログラム造成事業

2022年8月1日～2023年2月28日

“何もしないが最高の何かにつながる”をテーマとした新しい体験と観光の形

3市町村と接する猪苗代湖の南岸、郡山市湖南町の観光テーマとして、(動に対して)静を設定した。これまで観光地ではなかった地域の静けさや、自然の豊かさを“感じる”に特化した。アクティブな活動中心ではなく「何もしないひとときを過ごす」ことを中心に据え、カヤックやテントサウナ、ハンモックや焚き火など、自由に自分のペースで選択して実施できるツアーを造成した。



参加者アンケート

迎え入れてくださる自然と人のあり方に格段の心地よさを感じることができました。火・水・大地・空気、自然のすべてが深いところからの癒しをもたらしてくれた感満載です。「何もしないをする」コンセプトにうってつけのエフォートレスな(自然体で必要な力の入っていない)場でした。

自分のペースで自然を満喫でき、新しい出会いと発見がありました。普段出来ない、カヤックやテントサウナなどの体験ができ猪苗代湖が天然の水風呂というロケーションが良すぎて気分は最高でした。各々が自分のタイミングで好きなことをするという「何もしないけど何でもできる」形がとても心地よかったです。それが「何もない」と言われる地域の地元の人でも知らないものを見つけ方のヒントかもしれないと思いました。



DATA

- 10段階評価で参加者アンケートで10点(満点)が71.4%、9点が28.6%。

7

@ GIFU

モリノス

令和4年度森林総合教育センタープログラム実施等業務委託

2022年4月～2023年3月

永遠に未完成の「トンガリわくわく実験場」morinos 3年目のチャレンジ

オープン3年目の岐阜県立森林文化アカデミー森林総合教育センター(愛称: morinos《モリノス》)で実施するプログラムの1つとして、アートプログラム『十人十色、森で探して自分色の葉っぱを創ろう』を2022年11月6日に実施した。ゲストに「ソダテルラボ」の宮崎さん、名川さんを迎え、アート×自然体験によるプログラムを試行した。



参加者アンケート

ただ言われたように描いて制作するというものではなく、自ら触れて体験したものを作品にしていくという過程がとても深く心に根を下ろしました。また、娘にとっては失敗や間違いの恐れが強くなってきている年頃で常に母を頼ろうとしてしまい、私もそれに応えようとしてしまいましたが、先生の声かけによって何とか自分で乗り切ろうと頑張っていた姿がありました。

一日があつという間でした。久しぶりの森の中でのワークショップ。やはり時々こんな日も必要だって、改めて思います。



DATA

- 定員10名に対し、6組15名の申込があった。
- 満足度: 5組の回答中、大いに満足(60%)、満足(40%)

8

@ SHIZUOKA

富士市立少年自然の家

富士市教育委員会指定事業 第47回しどて学級

2022年7月2日～3日・8月19日～21日・10月8日～9日・11月12日～13日・12月10日～11日

少年自然の家開所2年目から47年間実施されている社会教育事業。

富士市内小学4～6年生を対象に、参加者が自ら考えて行動し、多様な価値観があること知り、友達と自然を思いやり、感謝する心を持つ活動を目指している。プログラム内容は第1回仲間作り・自然観察、第2回富士山学習。第3回丸火でキャンプ、第4回オリエンテーリング、第5回星座観察等。スタッフは指定管理運営をする自然学校職員、現役の小学校教員、社会人リーダー、社会教育実習の大学生、看護師が関わるスタイルで実施をしている。



参加者アンケート

宝永山登山では風と雨がひどくなってしまい、山頂まであと少しでしたが折り返すことになりました。少し残念でしたが沢山歩いたのでお弁当がおいしく感じました。帰って来た時に「頑張ったな」という達成感がありました。また富士山に登りたいです。

しどて学級を通して「共同生活のマナー」「時間を守る大切さ」についてより深く学べることができました。これからも自分からすすんで参加していき、自然や自然に関わる人たちのことを、よりもっと学んでいきたいです。



DATA

- 定員64名に対して192名の応募があった。
- アンケートの満足結果は1回目91.8点、2回目88.7点、3回目93.2点、4回目93.9点、5回目99.2点となった。



企業・行政・団体等との連携事例 [2022-2023]

ホールアース自然学校では、企業・行政・NPO・市民等、様々なセクターと連携することで、多様な事業を実施してきました。そんな中でも特徴的な連携事例をご紹介します。

企業・行政・団体のニーズ例



- ▶ 環境の専門的知見から事業を見直したい
- ▶ CSVを見据えた発展的なCSRを実現したい
- ▶ 社会貢献に資する事業に社員をもっと参画させたい
- ▶ SDGsに基づいて自社事業の設計と促進をしたい

私たちができること



企画提案段階

- ▶ 事業相談
- ▶ 検討会議への参加
- ▶ 業界リサーチ
- ▶ 事業提案等

企画実施段階

- ▶ 事業連携
- ▶ 事業実施
- ▶ 専門家の派遣
- ▶ 事務局運営
- ▶ コンサルティング
- ▶ コーディネート
- ▶ 事業パートナー紹介

case 1

鹿革クラフトを通して、森と野生動物と人の関係性を考える

森とつながる鹿革クラフト

委託元：株式会社小林製作所、静岡県、株式会社ドリームインスティテュート、株式会社エンチャー



依頼内容

新入社員研修の一環として、コミュニケーションをとりながら親睦を深めること。未活用の資源を活かしている事業の具体例を知ること。人と自然の関係性を知り、自然との共生を念頭に置いたビジネスアイデアの創出のヒントを得ること。森づくりに関連したクラフトを通して、森の生態系の理解を深めること。

協働内容

要望や対象者に合わせ、様々な形態の鹿革クラフトワークショップを実施した。作品を作るだけでなく、鹿革という素材の背景を伝え、森や野生動物の現状を理解してもらうことを軸とした。

主な成果

鹿革を通して、森や野生動物について考えてもらう機会を作るとともに、自然素材の活用的重要性や可能性を感じてもらった。

case 2

環境教育を実践・推進するリーダー育成

教職員等環境教育・学習推進リーダー養成研修

委託元：環境省（環境教育推進室）、公益社団法人日本環境教育フォーラム



依頼内容

「体験活動」を実践するリーダー育成につながる、自然体験活動の体験、環境教育等々に携わる人との交流、得られた学びや気づきの共有のためのグループワーク等を実施すること。

協働内容

環境省、日本環境教育フォーラム、環境教育研究者と連携しながら研修内容を構築。それぞれが大切にしたいと考えている要素を理解し合い、研修プログラムに落とし込んだ。

主な成果

互いに学び合う時間を創出。個人の学びを共有しながら、他者の視点にも触れ、今後の体験活動の企画立案につなげる土台を確認することができた。

case 3

自然×フェスの可能性を探る自然学校4社の取組み

フェスでの体験の場創出プロジェクト

主催者：株式会社三栄 企画・運営者：アースガーデン・オフィス



依頼内容

「自然の中で音楽を楽しむ」という認識が強いフェスの場において、「自然体験の機会」を創出すること。また親子や大人など多様な参加者に合わせたプログラムのラインナップを用意すること。

協働内容

4社それぞれの特徴を掛け算し、キッズエリアではいつでも遊べる場やプログラムの提供を行うと共に、大人コンテンツでは初対面でもチームで協力し自然と仲良くなるようなプログラムを提供した。

主な成果

4社連携で創出するコンテンツにより、「音楽を楽しむこと」に加えて「自然体験をすること」をフェスの目的にする人が増えている。

case 5

地循環型地域づくりへ貢献

富士宮市地域循環共生圏運営支援

委託元：富士宮市（環境部環境企画課）

依頼内容

地域の自立分権や相互連携、循環共生型社会づくりを促進するため、市が主催する「富士宮市地域循環共生圏推進協議会」の全体会合や視察研修、セミナー、各部会の開催などを支援し、円滑な運営に寄与する。

協働内容

富士宮市担当課と静岡県環境資源協会と協働して事務局を運営。主に富士宮市内で操業する企業や自治組織、各種地域団体、NPOなどを集めた全体会を実施し、目的を共有する団体間のネットワークづくりを支援。

case 4

森と海のつながりを体験的に学ぶ

森・里・川・海のつながり学習会・実践活動業務

委託元：静岡県（環境政策課）



依頼内容

伊豆半島を流れる狩野川流域をフィールドに森・里・川・海が栄養塩類の運搬を通してつながりを有していることを、小学校高学年の親子向けに、体験的に学んでもらう学習会を開催する。

協働内容

大学教授等の有識者のアドバイスをもとに、環境保全団体、農業者、漁協等と連携しながら学習会を実施した。その他、地域の教育委員会、地権者、映像制作事業者等、多様な外部協力者に関わってもらった。

主な成果

森・里・川・海それぞれのフィールドで計4回の学習会を開催。また、指導者向けの映像資料および運営マニュアルを作成した。



主な成果

*全体会での話題提供として「生物多様性保全」についてホールアースの取組み紹介
*年2回の全体会、視察研修、セミナー、世話人会議の開催を支援した。

会計報告

2022年度は、富士山本校や沖繩校での学校団体向け自然体験プログラムが順調に開催されたことに加え、各拠点での主催事業および受託事業も安定的に実施することができました。支出も、想定された範囲内でコントロールすることができ、約352万円の黒字で終えることができました。新型コロナウイルスの影響をひきずりながらも、今期を含めた直近3期を黒字で乗り越えられたことは、活動を支えてくれた多くの関係者のおかげだと思っております。また、数多くの皆様から、11月に発生した福島校の火災に対する寄付をいただきました。この場を借りて、心よりお礼申し上げます。

2022年度 活動計算書(抜粋)

| | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 経常収益 | 1.受取会費 | 75,000 |
| | 2.受取寄附金 | 19,383,323 |
| | 3.受取助成金等 | 3,430,000 |
| | 4.事業収益 | 245,054,759 |
| | 5.その他収益 | 1,919,918 |
| 経常収益計 | | 269,863,000 |
| 経常費用 | 1.事業費 (1)人件費 | 126,873,318 |
| | (2)その他経費 | 119,568,104 |
| | 2.管理費 | 17,981,901 |
| | 経常費用計 | 264,423,323 |
| | 当期経常増減額 | 5,439,677 |
| 経常外収益 | 82,600 | |
| 経常外費用 | 1,050,067 | |
| 税引前当期正味財産増減額 | 4,472,210 | |
| 法人税・住民税及び事業税 | 943,800 | |
| 当期正味財産増減額 | 3,528,410 | |
| 次期繰越正味財産額 | 658,874 | |

2022年度に実施したその他の事業(一部抜粋・順不同)

- 富士山「まなびの森」環境学習支援プロジェクト(住友林業株式会社)
- 富士山南陵の森フォレストセイバープロジェクト
((一社)富士山南陵の森フォレストセイバー)
- 管理捕獲等担い手育成研修運営業務(静岡県)
- 伊東自然歴史案内人養成講座(静岡県伊東市)
- 森林環境教育指導者養成講座業務(静岡県)
- 森のせんせい養成講座業務(神奈川県小田原市)
- 「森林を活用した持続可能な社会づくり」の学習促進業務
((公財)静岡県グリーンバンク)
- 「ろうきん森の学校」事業(労働金庫連合会)
- 邑づくりワンストップ窓口(東部地域)運営業務(静岡県)
- 2022年度「王子の森・自然学校」(王子ホールディングス株式会社)
- 生物多様性センター休日運営管理業務(環境省)
- 環境学習指導員等フォローアップ研修業務(静岡県)

ごあいさつ

2022年度も、多くの皆さまの支えをいただきながら、活動を進めることができました。

11月の福島校の火災の際は、たくさんの支援を賜り心より感謝申し上げます。

22年度からは理事メンバーを拡充いたしました。

社会の変化や要請にしっかりアンテナを張りつつ、

ホールアース自然学校として大切にしたいメッセージは変わることなく発信できるよう、

次年度も邁進していきます。

引き続き、よろしくお願い申し上げます。

役員紹介(2023年8月現在)



代表理事
山崎 宏



副代表理事
広瀬 麗子



副代表理事
大武 圭介

理事

浅子 智昭

遠藤 亮

小野比呂志

小林 政文

角田 周一

諏訪 さやの

津田 和英

平野 達也

和田 祐樹

活動拠点



富士山本校 [直営]

〒419-0305 静岡県富士宮市袖野165
TEL 0544-66-0152 FAX 0544-67-0567
WEB <https://wens.gr.jp>



田貫湖ふれあい自然塾 [委託]

〒418-0107 静岡県富士宮市佐折633-14
TEL 0544-54-5410 FAX 0544-54-6400
WEB <http://www.tanuki-ko.gr.jp>



福島事務所 [直営]

〒963-1633
福島県郡山市湖南町福良字中浜3953-46
TEL 024-984-6411 FAX 024-983-6722
WEB <https://wens.gr.jp/fukushima>



富士市立少年自然の家／丸火自然公園
[指定管理]

〒417-0801 静岡県富士市大淵10847-1
TEL 0545-35-1697 FAX 0545-36-2799
WEB <https://www.fuji-marubi.jp>



がじゅまる自然学校 [直営]

〒905-1143 沖縄県名護市真喜屋845
TEL 0980-58-1852 FAX 0980-58-1852
WEB <http://www.wens.gr.jp/gajumaru>



岐阜県立森林文化アカデミー
森林総合教育センター(morinos) [委託]

〒501-3714 岐阜県美濃市曾代88番地
TEL 090-1284-1466 FAX 0575-35-2529
WEB <https://morinos.net>

特定非営利活動法人ホールアース自然学校

〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165

TEL 0544-66-0152 FAX 0544-67-0567

E-mail info@wens.gr.jp

Website



note

